

二年生 国語 学習プリント



二年 組 名前

古典 随筆「枕草子」 作者 清少納言

教科書 P 32 ～ 33

1 作者について、教科書の「作者」の説明を参考にして、まとめよう。

| | | |
|-----|----|------|
| 作者名 | 時代 | 仕えた人 |
|-----|----|------|

2 次の言葉を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて、歴史的仮名遣いを確認しよう。

- ① やうやう () () ()
- ② 山ぎは () () ()
- ③ 闇もなほ () () ()
- ④ をかし () () ()
- ⑤ 飛びちがひたる () () ()
- ⑥ いと近ちかう () () ()
- ⑦ 飛びいそぐさへ () () ()
- ⑧ あはれなり () () ()
- ⑨ 言いふべきにあらず () () ()
- ⑩ 火ひ桶まけ () () ()

3 次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたり、辞書で調べたりして確認しよう。

| | |
|---------|--------|
| ① あけぼの | ② やうやう |
| ③ さらなり | ④ なほ |
| ⑤ をかし | ⑥ いと |
| ⑦ あはれ | ⑧ まいて |
| ⑨ つとめて | ⑩ さらでも |
| ⑪ つきづきし | ⑫ わろし |

○作者の四季の対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べよう。

4 教科書下段の現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と、好きなものや様子について、季節ごとにまとめよう。

| 季節 | 時間帯 |
|----|-----|
| 春 | 明け方 |
| 夏 | |
| 秋 | |
| 冬 | |

| |
|-----------------------------|
| 好きな「風情がある」「趣がある」「趣深い」「よい」もの |
| ・山ぎわが（ ） |
| ・月が（ ） |
| ・蛍が（ ） |
| ・蛍が（ ） |
| ・雨が（ ） |
| ・鳥が（ ） |
| ・雁などが（ ） |
| ・日が（ ） |
| ・雪が（ ） |
| ・霜が（ ） |
| ・たいそう寒いときに、（ ） |

5 作者の表現のしかたや作品の特徴について、気付いたことや教科書の「出典」を参考にまとめよう。

| 子 草 枕 |
|-----------------|
| 作者の表現のしかた・作品の特徴 |

📖 P 278 「古典の世界を広げる」も参考にしてみましょう。

6 「枕草子」を参考にして、自分の好きな時間帯や好きなものを、季節ごとに書き出してみよう。
 (例：その季節らしい食べもの・行事・植物・動物・天候・身の回りのものなど。)

| 冬 | 秋 | 夏 | 春 | 季節 |
|---|---|---|---|----------|
| | | | | 時間帯 |
| | | | | 好きなものや様子 |

7 作品の中に出てくる、次の漢字を書こう。

| | |
|--------|------------|
| ■ | ■ |
| □ | □ |
| おもむき | むらさき |
| がある | だちたる |
| ■ | ■ |
| □ | □ |
| しも | ほたる |
| のいと白きも | の多く飛びちがひたる |

二年生 国語 学習プリント



二年 組 名前

古典 随筆「枕草子」 作者 清少納言

教科書 P 32 ～ 33

1 作者について、教科書の「作者」の説明を参考にして、まとめよう。

| | | |
|-------------|------------|--------------|
| 作者名 清少納言 | 時代 平安時代 | 仕えた人 中宮定子 |
|-------------|------------|--------------|

2 次の言葉を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書いて、歴史的仮名遣いを確認しよう。

- ① やうやう (ようよう) (やまぎわ) (やみもなお) (おかし)
- (とびちがいたる) (いとちこう) (とびいそぐさえ)
- ⑤ 飛びちがひたる (いと近う) (飛びいそぐさへ)
- (あわれなり) (いうべきにあらず) (ひおけ)
- ⑧ あはれなり (言ふべきにあらず) (火桶)
- ⑨ 言ふべきにあらず
- ⑩ 火桶
- ② 山ぎは
- ③ 闇もなほ
- ④ をかし

3 次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたり、辞書で調べたりして確認しよう。

| | | | |
|---------|---------|--------|----------|
| ① あけぼの | 明け方 | ② やうやう | だんだんと |
| ③ さらなり | 言うまでもない | ④ なほ | やはり |
| ⑤ をかし | いい・趣深い | ⑥ いと | とても・たいそう |
| ⑦ あはれ | おもしろい | ⑧ まいて | まして |
| ⑨ つとめて | 早朝 | ⑩ さらでも | そうでなくても |
| ⑪ つきづきし | 似つかわしい | ⑫ わろし | 好ましくない |

○作者の四季の対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べよう。

4 教科書下段の現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と、好きなものや様子について、季節ごとにまとめよう。

| 季節 | 時間帯 | 好きな「風情がある」「趣がある」「趣深い」「よい」もの |
|----|-----|---|
| 春 | 明け方 | ・山ぎわが（少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいている様子） |
| 夏 | 夜 | ・月が（出ている様子） ・蛍が（多く飛びかっている様子） ・蛍が（ほんの一、二匹ほのかに光って飛んでいく様子） ・雨が（降る様子） |
| 秋 | 夕暮れ | ・鳥が（ねぐらへ行くため、三、四羽、二、三羽などと飛び急ぐ様子） ・雁などが（列を作っているのが、たいそう小さく見える様子） ・日が（すっかり沈み、風の音や虫の音などがする様子） |
| 冬 | 早朝 | ・雪が（降っている様子） ・霜が（真っ白な様子） ・たいそう寒いときに、（火を急いでおこして、炭を持っていく様子） |

5 作者の表現のしかたや作品の特徴について、気付いたことや教科書の「出典」を参考にまとめよう。

| 枕 草 子 | 作者の表現のしかた・作品の特徴 |
|-------|--|
| | <p>例：季節のよさを、一日の中の好きな時間帯から感じている。</p> <p>例：一瞬の美しさが具体的に、想像しやすく表現されている。</p> <p>例：簡潔な文章だが、鋭い視点から季節のよさが描かれている。</p> |

6 「枕草子」を参考にして、自分の好きな時間帯や好きなものを、季節ごとに書き出してみよう。
 (例：その季節らしい食べもの・行事・植物・動物・天候・身の回りのものなど。)

| 冬 | 秋 | 夏 | 春 | 季節 |
|---------------------------------------|---|---|---|----------|
| 自分の好きな時間帯を記入 | | | | 時間帯 |
| 例：雪・霜柱・氷 鍋・おでん・こたつ ブルブルする様子・寂しさ | 例：紅葉・運動会・ドライブ 栗・山菜料理・落ち葉 キュンとする気持ち・人恋しさ | 例：花火・海・祭り・キャンプ バーベキュー・かき氷 ワクワクする気持ち・開放的 | 例：花見・卒業式・入学式 団子・ピクニック・筍(たけのこ) うきうきする気持ち・期待と不安 | 好きなものや様子 |

7 作品の中に出てくる、次の漢字を書こう。

| | |
|--------|------------|
| ■ | ■ |
| 趣 | 紫 |
| おもむき | むらさき |
| がある | だちたる |
| ■ | ■ |
| 霜 | 蛍 |
| しも | ほたる |
| のいと白きも | の多く飛びちがひたる |

季節を感じる気持ち・季節を感じる行事・「をかし」「わろし」を作文に活用。

例 春はうきうき。暖かくなって、期待と不安
 が入り混じる季節。入学式や進級によつて、
 新しい友だちができるかなつて。花見に一緒
 に行く仲間とは、ずっと仲良くできるかなつ
 て。そんなことを考えると、楽しいな。
 夏はワクワク。もう暑くて暑くて、開放的
 になつちやう季節。海へ行つて、どこまで泳
 げるかなつて。お祭りに行つて、何を食べよ
 うかなつて。そんなことを考えると、興奮す
 るな。
 秋はキユンキユン。少しずつ涼しくなつて
 ちよつぴり切ない季節。紅葉狩りに行つて、
 美しいものに囲まれたいなつて。栗を拾つて
 おいしく食べたいなつて。そんなことを考え
 ると、人恋しいな。
 冬はブルブル。寒くて寒くて寂しくなる季
 節。雪が積もつたら、みんなで遊びたいな。
 こたつに入つて、お鍋をみんなで食べたいな
 でも、寒すぎて外に出られないから、一人ほ
 っちな。あ、あ、悲しいな。

。 、 、